



鍋田ふ頭コンテナターミナルの全国初の CNP 認証レベルアップ（レベル3からレベル4）について

国土交通省港湾局では、コンテナターミナルの脱炭素化の取組を評価する認証（CNP 認証）の制度運用が令和7年度から開始されており、鍋田ふ頭コンテナターミナルは、令和7年9月に本制度創設後初の認証（レベル3++）を受けていました。

この度、鍋田ふ頭コンテナターミナルで当社が進めておりました低炭素型のガントリークレーンの更新が完了し、インバーター化率100%を達成したため、借受者である名古屋ユナイテッドコンテナターミナル㈱が再度申請したところ、全国初のレベルアップ認証（レベル4++）を得ることになりましたので、お知らせします。

また、4月20日（月）には、鍋田ふ頭コンテナターミナルにて認証書交付式が予定されており、申請者の名古屋ユナイテッドコンテナターミナル㈱とともに、共同取組者として、名古屋港管理組合、当社も認証書を交付されます。

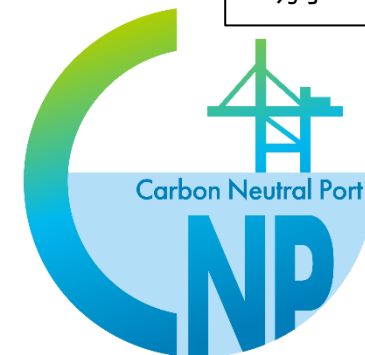
認証の概要につきましては、別添及び以下の国土交通省 HP をご参照ください
(URL: https://www.mlit.go.jp/report/press/kowan_news.html)

【お問い合わせ先】

名古屋四日市国際港湾株式会社
経営企画部経営企画課
担当：村瀬、奥
電話：052-307-4921

名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナル

別添



CNP Certification

認証レベル
Level 4 ++

(認証日 令和8年4月14日)

CO₂排出量原単位

—
(算出に必要な一部情報が不足)

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
名古屋ユナイテッドコンテナターミナル株式会社	RTGの電動化、遠隔操作化
	ヤード照明LED化
名古屋四日市国際港湾株式会社	インバーター制御方式のガントリークレーンの導入
名古屋港管理組合	名古屋港港湾脱炭素化推進計画の作成
	環境性能に優れた船舶へのインセンティブ制度の提供

[ターミナル概要]

名古屋港鍋田ふ頭コンテナターミナルは、中部圏の国際物流を支える拠点で、船舶の大型化、貨物の増大に対応できる高規格コンテナターミナルです。3バース一体運営で広大なヤードを備え、高性能ガントリークレーンや遠隔操作・電動RTGによる効率的で環境にやさしい荷役を実現しています。令和8年2月には、3基のガントリークレーンの更新を完了し、インバーター化率100%を達成しました。また、災害対応機能や高度な情報システムを整備し、安定したオペレーションを提供しており、輸出入貨物の円滑な流通を支え、地域産業と経済の発展に貢献しています。



遠隔操作・電動RTG



インバーター制御方式のガントリークレーンの導入
(供用開始した新1号機)



名古屋港港湾脱炭素化推進協議会